

URGCCマトリクス

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】

機械工学学士教育プログラム

	URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性
		自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身に付け、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、活用することができる。
学士教育プログラム学習教育目標	1 分析・行動(地域・国際性、自律性) 国内外における機械工学の現状を多面的に考え、地域社会が要望する問題を自主的、継続的に学習する能力を身に付ける。	○		○				
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 国内外における機械工学の現状を多面的に捉え、自主的、継続的に学習する能力を養うため							
	2 倫理(社会性) 幅広い教養と倫理観を備えて、深い洞察力や思考力を駆使し、物事を多面的に捉え、社会に対し責任感をもって行動する能力を身に付ける。		○					
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 幅広い教養と倫理観を学ぶことにより、社会に対する責任感を備えるとともに、社会貢献できる能力を養うため							
	3 知識(専門性、情報リテラシー) 数学、自然科学、情報技術の基礎分野及び機械工学の専門分野に関する知識を修得し、これらを工学的問題に応用する能力を身に付ける。						○	○
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 情報技術の基礎分野及び機械工学の専門分野に関する知識の修得並びに工学的問題に応用する能力を養うため								
4 協働・コミュニケーション(チームワーク、コミュニケーション・スキル) 他者との協働作業を通して論理的な説明ができるコミュニケーション能力を有し、英語などによる国際的なコミュニケーション能力を身に付ける。		○			○			
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 他者と協調・協働し論理的な説明ができるコミュニケーション能力を身に付け、自らの考えや意思を明確に表現することができる能力を養うため								
5 解決・統合(問題解決力) 修得した知識を有機的に統合し、安全性・経済性・環境負荷を考慮した機械をデザインし、計画的に問題を解決できる能力を身に付ける。							○	○
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 安全性・経済性・環境負荷を考慮した機械をデザインするため、これまでに修得した知識を有機的に統合して問題を解決することができる能力を養うため								
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)								
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)								